

H24. 1. 30 (月) JDSの学習会の感想

参加人数 10名 (内4名は就学前です。見学)

一人一人の悩みに細かく応えて下さり、私たちにも問われるというトーク会のような感じでして下さったので、以前悩んでいたなあ～とみなさんに共感できたり、小さいお子さんを育てられているお母さん方を見て手抜きになりかけていた自分の子育てを見直せるチャンスを得ました。これからの進路も今の担任の先生と相談しながら探していけばいいとアドバイスを頂いたので、懇談会や相談日に話をしていこうと思います。また、一人一人違うけど、共通点はいっぱいあるので次回も企画してほしいと思います。

さまざまな事例を通して具体的な対処方法や導きかたを教えていただきとても参考になりました。先生の「褒めるに限る」というお話を聞きながら、小さい頃はよくほめていたけど、この頃は少しご無沙汰していたかな～と反省しました。一つ一つの出会いを大切に自己肯定感を味わえるようなかわりを持っていてほしいなと思います。

昨年に引き続き参加させていただき、日々日常の中で忘れがちな事を思い出させていただいた貴重な時間を過ごせました。

何のために学習するのか、何の力を育てたいか先生のしっかりした目標を教えていただき「自己肯定感を持ったこども」に導いていくことが大事なのであるのに気付かされました。毎日の生活はいろいろありますが、焦らず、悔らず、諦めず一步一步前進していけたらと噛みしめた時間でした。

初めて先生のお話を聞いて、ほめることの大事さや、まだ先のことですが算数のやりかたなどこれから役立つ話が聞けて、とても参考になりました。また、お話をお聞きしたいです。

先輩方の実際の悩み、体験の中からの声やアドバイスを聞くことが出来、我が子もこれから就学して起こりうるであろう悩みとしてとても参考になりました。国語、算数など課題をのりこえていけるよう、石原先生がとても細かい工夫やアイデアをして下さっていて、驚き、とてもありがたく感じました。印象に残ったのは「自己肯定感を味わえる場」です。自分は周りに必要とされていると感じれる場を親として提供していけたらと思いました。

息子はまだ1歳ですが、今後どのように成長していくのか、その中でどのような問題が起こってくるのか、少しでも知っておくことができればと思い、今回見学させていただくことにしました。皆さんのお子さんの学校や家での様子や、直面している悩みなどいろいろとお話が出てきており、息子が小学生になったときのことが少しイメージできたような気がしました。自分が実際に様々な悩みに直面したときに、このような会で他の会員さんたちと共有できるだけでも精神的負担が軽くなるのではないかと思います。

石原先生については、赤ちゃん体操でお見かけするだけで、どんなことをなさっているのか知らずに参加させてもらいましたが、ダウン症児のことをとても理解しておられて、それぞれのお子さんの能力を伸ばせるよう、大変ていねいにかかわっておられる様子が伝わってきて、心強く感じました。

先生のお話を伺い、まず家庭から、自己肯定感を味わえる場にしないと反省しました。

わが子をきちんと見ようとする目をもち、ほめようと思います。

家庭でする教育は家庭で行い、学校や習い事（個々に応じた指導のもと）での教育は、内容を明確にして、わが子が楽しく過ごせるように環境を整えたいと改めて感じました。

わが子の可能性を信じて、私自身も子育てを楽しみたいと思います。